

教育プログラム・コースの概要

大学名等	神戸大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	オンデマンドセミナーを活用した個別化腫瘍・血液治療インテンシブコース						
対象職種・分野	近畿圏その他でがん診療に携わっている医師						
修業年限(期間)	1年						
養成すべき人材像	固形がんおよび造血器腫瘍に対し臓器横断的に標準的ながん薬物療法や、腫瘍の遺伝子異常や臨床薬理学的知見に基づいた治療の個別化、遺伝性腫瘍の診療に対応でき、施設全体のがん薬物療法推進と安全管理にコーディネーターとして主導的役割を果たせる人材を養成する。						
修了要件・履修方法	日本臨床腫瘍学会・日本血液学会のオンデマンドセミナーを活用した講義(20時間) 診断・治療の実践的症例検討(症例検討4時間) 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位) 腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位) 実習 160時間(希望者のみ)						
履修科目等	日本臨床腫瘍学会・日本血液学会のオンデマンドセミナーを活用した講義(20時間) 診断・治療の実践的症例検討(症例検討4時間) 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(希望者、R5年度は共通特論Ⅰ) 腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(希望者、R5年度は共通特論Ⅰ・Ⅱ) 実習 160時間(希望者のみ)						
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)・血液専門医(日本血液学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	通常の博士課程、修士課程とは別に近畿圏等ではがん診療に携わっている医師を対象に、がん診療およびゲノムに基づく個別化医療に必要な臨床腫瘍学・血液内科学の体系的な教育の機会を提供し、最新の知識と技能の地域への均てん化とレベルアップをめざす。日本臨床腫瘍学会および日本血液学会が提供するWebベースの教育セミナー等を利用し、単に聴講するのではなく専門医を中心として講師陣の独自の解説・講義により理解を深める。現実の医療では、重複癌、合併症、既往・治療歴などにより教科書的知識だけでは対応できない症例も多い。重複例や臓器障害例など実際の患者を用いて症例検討を行い、実践的応用力を養成する。希望者には博士課程と同じ腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)を履修させ、大学病院あるいは連携病院においてがん薬物療法の実習を4週間実施する。修了者には、がん専門医師研修(インテンシブ)コース修了証を授与する。						
指導体制	・各固形がんおよび造血器腫瘍の専門医がそろっており、オンデマンドセミナーの補足説明、詳細な解説が可能である。 ・臨床実習では、多職種連携の現場を体験しチームの一員として活動させる。						
修了者の進路 キャリアパス	兵庫県を中心に各地域におけるがん薬物療法およびその個別化の普及・均てん化、質の向上が期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	3	3	3	3	3	15
受入(養成)目標人数 設定の考え方・根拠	兵庫県内のがん診療連携協議会において準拠点病院以上に指定されている病院は46病院あり、一方、がん薬物療法専門医は64名存在するが偏在が認められる。そのため、専門医が不在の病院に専門的知識を有する医師を配置するには、30名程度の養成が必要と思われる。兵庫県には本プロジェクトに参加する医学部が他にもあり、過去の大学院志願者数等より毎年度3人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を合計15人と設定。						